

もぎとり果樹園と施設トマトで地域に生きる (有限会社芽野歌 (めのか))

＜法人の概要＞

所在地：愛媛県今治市

設 立：平成14年10月

資本金：800万円 売上高：3,100万円（平成23年）

構成員（議決権）：構成員4名

役 員：3名（うち農作業従事3名）

従業員数：常時雇用者3名、臨時雇用者15名

経営面積：6.0ha（うち所有5ha、借地1ha）

作付作物：落葉果樹（ブドウ、桃等）5.5ha、ハウストマト47a



農場の全景



桃園での受粉作業

＜営農を開始するまでの状況＞

平成6年より、菊間町河之内地区において集落農業の再編へ向けた取り組みが開始された。その過程で、地区内の有志による農業生産法人を結成し、基盤整備後の営農を担うという将来ビジョンを立てた。

それにより、平成12年から開始された農地基盤整備の取り組みと並行して、法人の設立を進めた。

農地の確保については、基盤整備後の農地を買い入れた。そのため初期投資が大きくなった。

販路の確保については、落葉果樹部門は観光農園を行っており、消費者（来園者）へ直接販売している。トマト部門については、全量をJA系統へ出荷している。

地域との関係については、臨時雇用者をすべて地元から雇用するなど、良好な関係を保つよう努力している。

＜特徴的な取組＞

○落葉果樹部門では、入園料を取らず、入園者が収穫した分だけの料金をもらう「もぎとり果樹園」として観光農園を経営。「山の果物屋さん」として、地域の消費者に気軽に来て楽しんでもらうことを主眼にしている。

○ブドウの栽培については、県下で数少ない「レインカット方式」を導入しているほか、子供や車椅子の利用者でも手が届く低樹高栽培を行っている。

○トマト部門は、ミニトマトを栽培し、安定した品質と高収量を目指している。

○他の企業等との連携

- ・地域の消費者や企業に利用してもらうことを第一に考えており、地元の製菓業者へブドウなどを出荷している。

○関連事業

- ・特になし

＜今後の農業経営の展開方向＞

- ・事業規模は、当面の間は現状維持の方向。落葉果樹については、現状の品種を栽培する。平成25年ごろから苗木の園地が成園化するため、収益の向上を見込んでいる。

トマトについては、将来は施設を増設したい。

- ・新たな作物や関連事業への取組として、消費者が直接加工を体験する施設を作りたい。入園者が、収穫したブドウなどを自らジュースやジャムにして味わうかたちのもの。

＜今後法人化を進めようとしている方へのアドバイス＞

- ・経営の維持発展を考えると、なるべく初期投資を少なくした方が良いと思われる。



低樹高栽培のブドウ園



ミニトマトの栽培園場